

## お知らせ

立命館アジア太平洋大学  
2018年10月16日 配信 APUリリース 2018-33

# ムスリム研究センター (RCMA) ニュースレター第二号発刊のお知らせ

この度、2017年度の取り組みを中心に皆様にご案内するニュースレター第二号が発刊されましたのでお知らせいたします。

2015年4月、立命館アジア太平洋研究センターの附属研究センターとしてムスリム研究センター (RCMA) は設立されました。APUの約90の国と地域から多様な文化背景をもつ学生が集まり、教員の半数が外国籍であるという環境とこれまでの経験を活かして、当センターでは、イスラム圏のみならず多文化共生のあり方の研究を通じ、地方創生に資するようなモデルの構築を模索しています。

ニュースレター第二号は、下記のURLまたはGoogle検索で「ムスリム研究センター ニュースレター」と入力し検索してください。

URL:<http://www.apu.ac.jp/rcaps/rcrcmc/newsletter.html/>

### 【ニュースレターダイジェスト】

#### (1) 大分県内で行った2017年度のRCMA特別講座のご報告

京都の焼肉有名店(株)きたやま南山や、がんこフードサービス(株)から講師を招き講座を行いました。

- ・ハラール和牛がもたらす飲食市場の可能性
- ・グローバル化する日本料理マーケットの現在、多様性への対応を中心に

#### (2) 採択研究結果のご報告

- ・『貧困削減のためのツールとしてのイスラム・マイクロファイナンス：バングラデシュ、インドネシアの事例』  
研究代表者 BARAI Munim Kumar 国際経営学部教授
- ・『ムスリム社会と連携した循環型社会創出の為の社会起業の可能性調査』  
研究代表者 KIM Rebecca ChungHee 国際経営学部教授
- ・『APUを包含する別府における多文化共生の現状把握とその模索についてのプロジェクト』  
研究代表者 清家 久美 アジア太平洋学部教授
- ・『日本語指導が必要な児童生徒に対する支援のあり方に関する研究』  
研究代表者 立山 博邦 教育開発・学修支援センター准教授
- ・『インドネシア・イスラム銀行におけるムシャラカ金融リスクマネジメントの実態分析』  
研究代表者 鈴木 泰 国政経営学部教授

#### (3) フンドーキン醤油(株)×(株)インスパイア×APU相互連携協定に基づくハラール醤油共同開発

APUの教員と大学院生らが本プロジェクトにかかわり、製品開発やマーケティングなどに協力しました。来春にはフンドーキン醤油(株) (大分県臼杵市) より「はちみつ醤油ハラール」が発売される予定です。